

連結決算サマリー

| | |
|------|--------------------------|
| 売上高 | 57,301百万円 (前期比5.1% ↗) |
| 営業利益 | 2,428百万円 (前期比12.6% ↘) |
| 経常利益 | 2,258百万円 (前期比12.3% ↘) |
| 純利益 | 1,265百万円 (前期比10.2% ↘) |

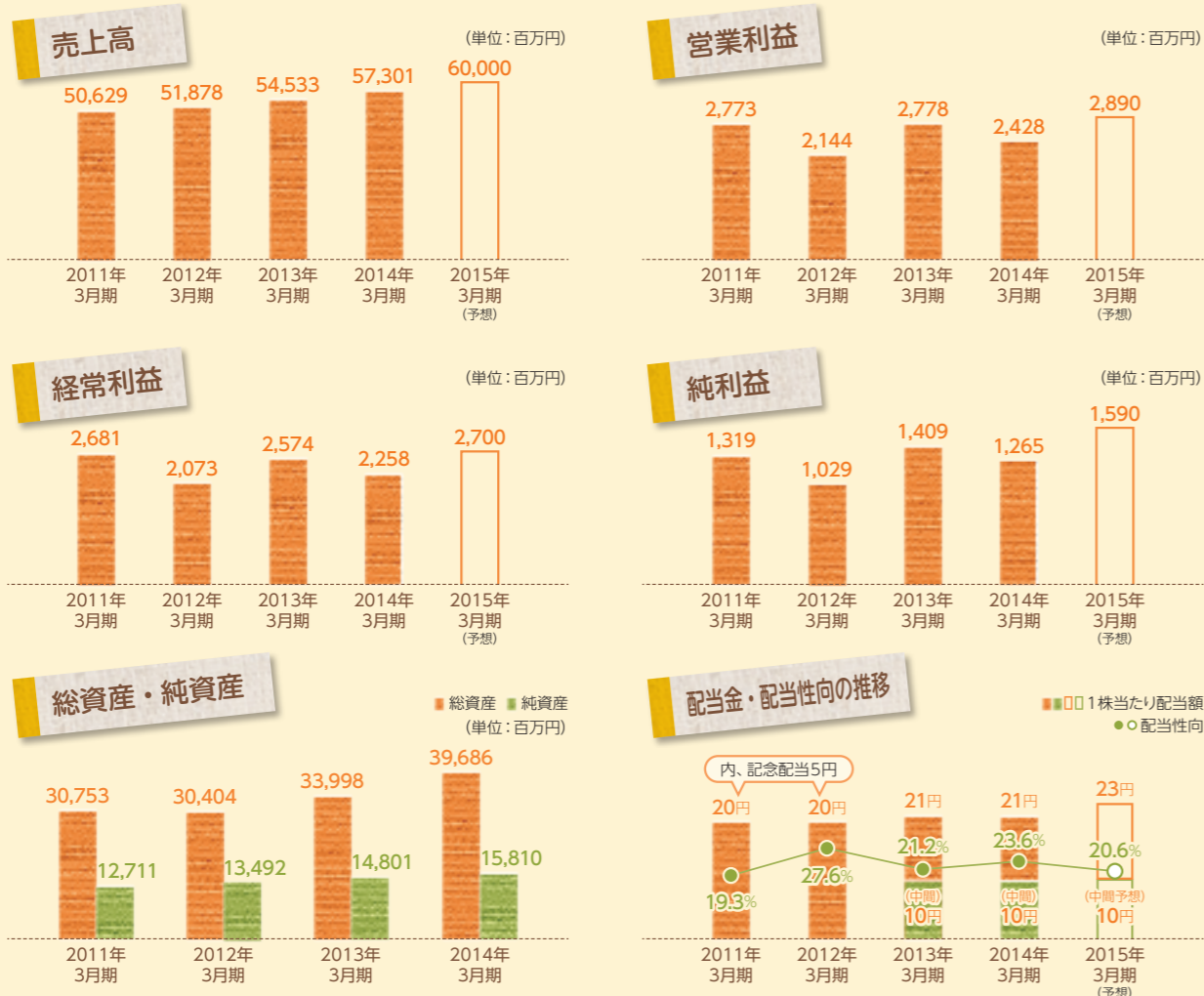
売上高の解説

従来より進めてまいりました外食等の分野別チームについて、新たなチームを追加するなど業態を細分化し、更に深掘りした分野別の個別対策を立案・実行した結果、売上高増加へ大きく寄与いたしました。業態別に提案しておりますサラダ料理のレシピにつきましては、当社のウェブサイト上でも紹介することで、更なる売上増加に繋げてまいりました。
またサラダカフェの活用によるグループ相乗効果を高める戦略を進めており、消費者と直接対話ができるショップ及びウェブサイトを通じて集めた消費者の声をメニュー提案に活かしてまいりました。このメニュー提案力の強化によりお客様との共同試作におきましても、ますます好評をいただくことができ、お客様との関係を更に強固なものとすることができました。その結果、前連結会計年度に対して増収を達成することができました。

利益の解説

利益につきましては、為替が円安に進行したことに加えて、穀物及び鶏卵相場の上昇等、原料価格の高騰が想定以上に進んだことに対し、企業努力のみでは吸収しきれない部分に関し、一部商品の価格改定を進めさせていただくとともに、売上高増加による利益増加や工場の稼働率アップ、また物流費をはじめとした費用削減等を実施いたしました。連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益は前連結会計年度対比で減益となりました。

連結財務ハイライト



セグメント別営業概況

売上高構成比 **83.0%** **調味料・加工食品事業**

売上高 **47,541**百万円

セグメント利益 **2,106**百万円

主な事業内容
サラダ・総菜類(ポテト/ゴボウ/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)の製造・販売

売上高推移 (単位: 百万円)

2013年3月期: 45,894
2014年3月期: 47,541

ポイント

- 販売重量は前期比2.6%増加、販売単価は前期比0.6%増加
- サラダ・総菜類では、主力商品や素材を活かした商品が外食・コンビニエンスストア向けに新規採用されたことにより伸長
- 低カロリー・ノンオイルドレッシングや「世界のソース」シリーズが好調に推移
- タマゴ加工品は各業態で伸長し、大幅に増収

売上高構成比 **15.0%** **総菜関連事業等**

売上高 **8,586**百万円

セグメント利益 **369**百万円

主な事業内容
国内の連結子会社7社が行う事業。フレッシュ総菜(日配サラダ・和惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

売上高推移 (単位: 百万円)

2013年3月期: 7,526
2014年3月期: 8,586

ポイント

- 量販店向けにポテトサラダやマカロニサラダ等の新規採用により増収
- 生産効率や経費削減等コスト見直しにより増益

売上高構成比 **2.0%** **その他の事業**

売上高 **1,173**百万円

セグメント損益 **△216**百万円

主な事業内容
ショップ事業(Salad Cafeショップ)及び海外事業

売上高推移 (単位: 百万円)

2013年3月期: 1,113
2014年3月期: 1,173

ポイント

- 新規出店やリニューアルを柱に、今後の収益アップへ
- Salad Cafe オリジナルドレッシングやスープサラダの発売による商品ラインナップの強化
- 中国は経営体制の強化により収益の改善も
- インドネシアは現地における生産販売開始

※ 海外事業は持分法適用会社のため売上高に含まれません。